

志賀原子力発電所の開閉所等の 耐震性評価の進捗状況の提出について

平成24年9月28日
北陸電力株式会社

当社は、本日(9月28日)、原子力安全・保安院からの追加指示文書¹に基づき、原子力発電所の開閉所等の耐震性評価の進捗状況を原子力規制委員会に報告²しましたので、お知らせいたします。

1月19日、原子力安全・保安院から、福島第一原子力発電所の開閉所設備の解析結果及び損傷原因を考慮した上で、原子力発電所等の開閉所の電気設備及び変圧器において、今後発生する可能性のある地震を入力地震動に用いた耐震性の評価及び対策の追加的な実施を求められるとともに、その実施計画について報告するよう追加指示を受け、2月17日、志賀原子力発電所の外部電源の信頼性確保に係る開閉所等の耐震性評価実施計画をとりまとめ、同院に報告しました。(1月19日、2月17日お知らせ済み)

耐震性評価は長期の期間を要し、評価の進捗により工程が変更となる場合があるため、四半期毎に進捗状況を報告することとしており、本日(9月28日)、開閉所等の耐震性評価の進捗状況(平成24年度第2四半期)を原子力規制委員会に報告しました。

(平成24年度第1四半期の報告は6月29日に報告(6月29日お知らせ済))

以上

添付資料1：志賀原子力発電所の開閉所等の耐震性評価進捗状況(概要)

添付資料2：志賀原子力発電所の開閉所の電気設備及び変圧器の耐震性評価実施工程

1 追加指示文書

「原子力発電所等の外部電源の信頼性確保に係る開閉所等の地震対策について(追加指示)」(平成24・01・17 原院第1号)

2 原子力規制委員会に報告

平成24年9月19日、「原子力規制委員会」が発足し、原子炉施設等の規制・監視に関わる事項が「原子力安全・保安院」等より同委員会に移管されたため。

志賀原子力発電所の開閉所等の耐震性評価進捗状況（概要）

1. 耐震性評価進捗状況

平成 24 年 9 月末現在における開閉所等の耐震性評価進捗状況は以下のとおり。
平成 24 年 2 月 17 日に策定した実施計画に一部見直し¹はあるもののほぼ計画どおり進捗している。

1 500kV ガス絶縁開閉装置の耐震性評価完了時期を 9 月から 10 月へ見直し。

(1) 入力地震動の算定（完了）

基準地震動 S_s を基に、開閉所の電気設備及び変圧器への入力地震動を算定。

(2) 開閉所の電気設備及び変圧器の耐震性評価（一部評価開始）

入力地震動によって生じる設備の応力等が評価基準²を満足することを評価。

2 耐震設計審査指針，関連学協会規格・基準における評価基準を準用

評価作業中： 500kV ガス絶縁開閉装置

66kV ガス絶縁開閉装置

1号起動変圧器

1号予備電源変圧器

2号主変圧器

2号所内変圧器

2号予備電源変圧器

今後評価予定：275kV ガス絶縁開閉装置

2. 今後の予定




四半期毎に進捗状況の報告を行うとともに、平成 24 年 12 月に耐震性評価の中間報告を行い、平成 25 年 7 月に最終報告を行う予定。


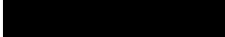




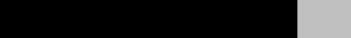


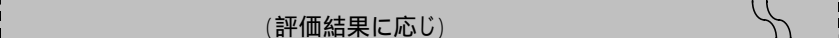

3. 対策

「対策の追加的な実施」については、各設備の耐震性評価を踏まえて実施するとともに、対策の完了後に取りまとめて報告を行う。

以 上

志賀原子力発電所の開閉所の電気設備及び変圧器の耐震性評価実施工程（平成24年9月末現在）

（凡例：当初の予定  今後の予定  実績  ）

項目	平成24年	平成25年	平成26年
報告	1月19日 指示文書受領 2月17日 実施計画書提出 6月29日 四半期報告 9月 四半期報告	12月 耐震性評価中間報告 1 7月（予定）耐震性評価報告 6月 四半期報告 1 3月 四半期報告 1 9月 四半期報告 1	報告 2 12月 四半期報告 1
開閉所	入力地震動の算定  耐震性評価 66kV ガス絶縁開閉装置  275kV ガス絶縁開閉装置 	耐震性評価 	
500kV ガス絶縁開閉装置	入力地震動の算定  耐震性評価 （工程変更前）  （工程変更後） 	【工程変更の理由】 ・解析作業を慎重に行ったため時間を要している	
変圧器 （ 1号起動変圧器 1号予備電源変圧器 2号主変圧器 2号所内変圧器 2号予備電源変圧器 ）	入力地震動の算定  耐震性評価 		
対策検討 / 対策実施	機器の対策が必要と判断した 時点で対策検討を開始する。		

- 1 評価の進捗により工程が変更となる場合がある。このため、中間報告、四半期報告毎に評価の進捗を反映し、修正した工程の報告を行う。
 なお、四半期報告は対策の完了まで継続して行う。
- 2 評価結果を踏まえ、対策の完了後に取りまとめ次第報告を行う。